

	長崎大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：116 第2年次：5） ※医学科を記載。 医歯薬学総合研究科（M：68 D：100） 熱帯医学研究所
沿革・設置目的	<p>長崎奉行所西役所医学伝習所を起源とし、医学に関する教育・研究を行うことを目的に、長崎府医学校、県立長崎医学校、第五高等学校医学部、長崎医学専門学校、官立長崎医科大学を経て、昭和24年（1949年）長崎大学医学部として設置された。</p> <p>昭和17年（1942年） 附属東亜風土病研究所設置（昭和42年（1967年）熱帯医学研究所に改称）</p> <p><u>昭和24年（1949年）長崎大学設置と同時に医学部設置</u></p> <p>昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成14年（2002年）医歯薬学総合研究科に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成21年（2009年） 熱帯医学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長崎大学の理念に基づき、深い医学知識と豊かな創造性、高い倫理観を身につけ、地域医療や国際貢献に寄与できる多様な医師・医学研究者等の養成を積極的に推進する。 ○ 国内外の大学・研究機関との幅広い連携の下、放射線健康リスク管理学を中心とした放射線医療科学に関する国際拠点を形成し、在外被爆者医療活動、原子力災害における医療・健康管理活動支援や人材育成を推進する。 ○ 長崎大学が有する国内外の研究拠点における熱帯新興感染症の研究を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。また、移植医療の実績を活かし、高度・先進的な医療を積極的に展開する。 ○ 長崎県の医師不足や偏在の解消、離島医療等の地域課題に貢献するため、地域医療機関等との連携のもと県内の地域医療や多職種協働による在宅医療等を担う医師の養成、死因究明を担う人材の養成を積極的に推進する。

- 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、第一種・第二種感染症指定医療機関等としての取組を通じて、長崎県における地域医療の中核的役割を担う。